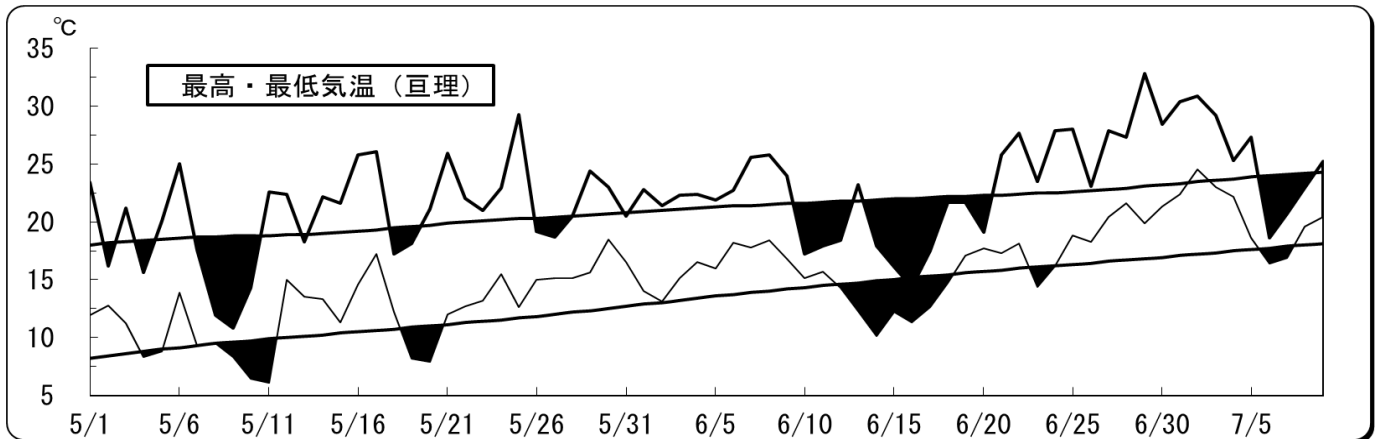


1 気象概況

◆ 5月1日から7月9日までの気温の変化

[亘理アメダス]



・6月中旬には低温傾向、6月下旬からは高温傾向が続き、急な温度変化が見られました。

2 生育調査データ

(1) 移植栽培

品種	調査地点	田植月日 (前年差)	栽植密度 (株/m ²)		7月1日調査(7/2)					7月10日調査					
					草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)	幼穂長 (mm)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)	幼穂長 (mm)	
1 ひとめぼれ	山元町 坂元	5月22日 (+2日)	16.7	本年値	51.1	460.9	9.7	48.9	0	67.0	479.3	10.9	41.5	0.8	
				平年比・差	112%	103%	0.8	5.7	—	114%	92%	0.3	0.2	0.4	
				前年比・差	136%	84%	1.1	7.5	0	121%	81%	0.7	0	0.8	
2 ひとめぼれ	名取市 愛島	5月21日 (+4日)	18.4	本年値	48.4	500.5	9.8	42.2	0.1	62	441.6	10.6	40.5	1.4	
				平年比・差	98%	99%	0.1	2.6	—	104%	85%	-0.4	2.6	-1.6	
				前年比・差	130%	110%	-0.1	2.8	0.1	118%	87%	-0.6	5.9	0.3	
3 ひとめぼれ	亘理町 逢隈	5月4日 (-2日)	21.1	本年値	58.4	624.6	9.9	46.2	0.1	70.1	582.4	10.9	38.0	1.8	
				平年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				前年比・差	146%	114%	-0.2	0.4	0.1	113%	103%	-0.2	-8.7	-0.3	
4 ひとめぼれ	岩沼市 押分	5月8日 (-4日)	16.3	本年値	52	440.1	10.1	38.9	0.3	60.9	436.8	11	43.5	1.2	
				平年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				前年比・差	121%	96%	0.5	-5.9	0.3	100%	85%	-0.1	4.1	0.5	
5 だて正夢	亘理町 逢隈	5月4日 (-1日)	21.0	本年値	62.2	512.4	9.9	43.0	0.3	72.8	476.7	10.7	40.0	1.7	
				平年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				前年比・差	125%	100%	-0.4	-3.1	0.3	115%	102%	-1	-2.1	-2.8	

* 平年値は過去5か年(H25~29年)の平均値を使用。調査ほ場が変わっている場合は、平年値を示していません。

- ・ 生育は概ね平年並です。7月上旬の低温傾向により、茎数の増加は落ち着いていますが、すでに必要茎数は確保されています。(目標茎数:450~500本/m²の場合)
- ・ 多くのほ場では、『幼穂形成始期』に入っています。(幼穂形成期:幼穂長1~2mm)
- ・ 出穂期予測:出穂期 <8月1日~10日頃(仙台湾沿岸)>と見込まれます。

(2) 直播栽培

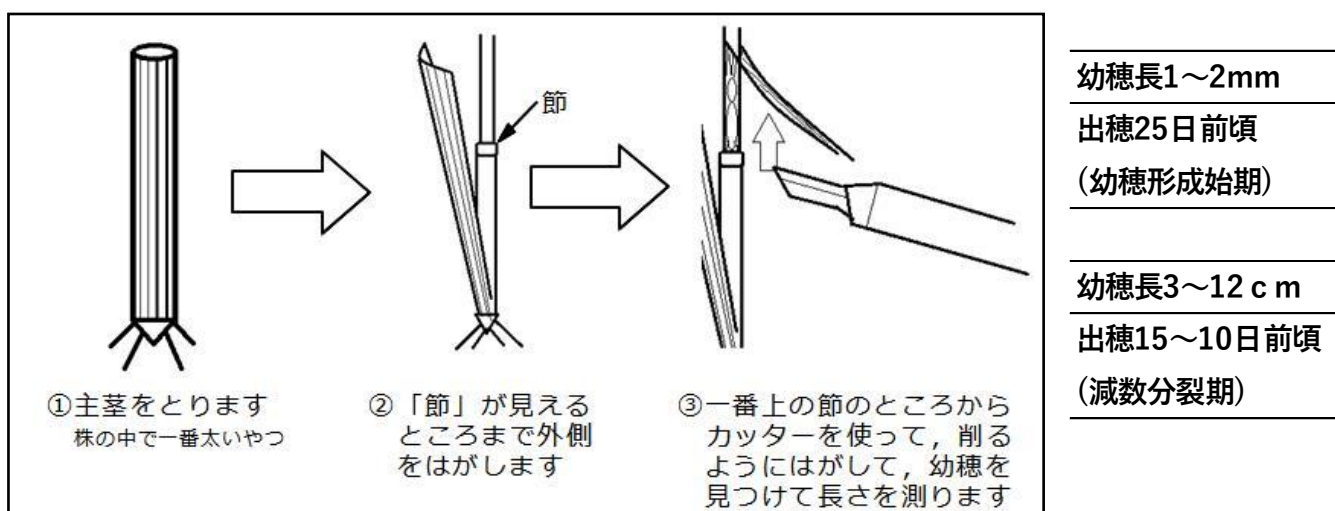
品種	調査地点	播種月日 (前年差)	播種様式	本年値	7月1日調査(7/2)					7月10日調査				
					草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)	幼穂長 (mm)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)	幼穂長 (mm)
ひとめぼれ	岩沼市 押分	4月5日 (-8日)	乾田直播 (V溝)		48.9	420.3	8.6	35	—	62.3	386	9.6	36.3	0.9

- ・ 必要茎数(移植×80%で想定)は確保されています。
- ・ 直播栽培では、移植栽培より7~10日程度遅い生育(葉数で1枚遅れ)となっています。

3 今後の管理

(1) 出穂期の目安

- ・ 出穂期: ほ場全体の40~50%で、止め葉の葉鞘から穂先が少しでも出た日。
- ・ 各ほ場での出穂期は『幼穂長』から予測することができます。出穂期の目安をつけて、必要な管理作業を、適切に実施しましょう。



(2) 水管理

- ・ 幼穂形成期に達する前には中干しを終了し、走り水で徐々に入水し、間断かん水または飽水管理を行いましょ。その後は生育ステージに合わせて、以下の通り管理を行いましょ。

生育ステージ	気温条件	水管理
幼穂形成期 (出穂25日前頃)	平均気温20℃以下, 最低気温17℃以下の場合	深水管理: 水深5~10cm
減数分裂期 (出穂15~10日前頃)		深水管理: 水深20cm
出穂期前後	—	飽水管理: 足跡に水がたまる程度を維持する
出穂後5~15日	最低気温23℃以上の日が 連続する場合	昼間深水⇔夜間落水管理

(3) 追肥

- ・ ほ場毎に各生育ステージの葉色を確認し、必要に応じて追肥を行いましょ。

品種名	幼穂形成期(幼穂長1~2mm)			減数分裂期(幼穂長3~12cm)		
	カラスケール (群落)	葉緑素計値	施肥量 (窒素分量)	カラスケール (群落)	葉緑素計値	施肥量 (窒素分量)
ひとめぼれ	4.2~4.5	37~39	1.0kg/10a	3.9~4.2	35~37	1.0kg/10a
つや姫・まなむすめ	3.9~4.2	35~37	2.0kg/10a	—	—	—
だて正夢	(幼穂形成期追肥なし)			3.9~4.5	35~39	2.0kg/10a
	4.5~5.2	39~43	1.0kg/10a	3.9~4.5	35~39	1.0kg/10a

- * だて正夢は、減数分裂期に 2kg/10a 施用を基本としますが、有効茎数の不足が予想される場合、上記葉色の目安に応じて、幼穂形成期と減数分裂期に 1kg/10a ずつ施用しましょ。

(4) いもち病防除

- ・ 箱施用剤や予防粒剤の効果が低下し始める時期です。ほ場をよく観察し、発生が確認された場合は、早期防除に努めましょ。

いもちの種類	薬剤の種類	防除方法
葉いもち	茎葉散布剤	・ 病斑を確認したらすぐに防除
穂いもち	水面施用剤(粒剤)	・ 出穂の20~10日前の防除が効果的
	茎葉散布剤(粉剤,液剤)	・ 1回目 出穂直前 ・ 2回目 穂揃期 (3回目 穂揃期の7~10日後：多発の恐れがある場合)

(5) 斑点米カメムシ類対策

- ・ 斑点米被害軽減のため、斑点米カメムシ類の防除をしっかりと行いましょ。

防除対策	留意点
耕種的防除	○7月中旬まで：牧草地の草刈りを終えておく
	○出穂10日前まで：畦畔や水田周辺の雑草地の草刈りを終えておく
薬剤防除	・ 2回防除が基本。1回目：穂揃期，2回目：穂揃期の7~10日後 ・ <u>イヌホタルイが残草している場合</u> 1回目の薬剤散布を『穂揃期 から 出穂始め』に早める

農薬危害防止運動実施中 (6月1日~8月31日)

『農薬の使用前に もういちどラベルを確認！！』